



雨引小学校に1千万円を寄付した鈴木七郎さん。同校に記念碑が設置されました。

11月7日 雨引小で 鈴木七郎さん感謝式

雨引小学校に1千万円を寄付した鈴木七郎さん（92歳・日立市）を招き、同校で感謝式が開催されました。
鈴木さんは、東飯田地区出身で昭和13年3月に同校を卒業。お世話になった恩師や地域へ感謝し、その恩返しの中で、平成27年8月に寄付されました。
同校のPTAが感謝を込め、鈴木さんの句を入れた記念碑を敷地内に設置。感謝式同日に、その除幕式も行われました。
鈴木さんは、「地域の皆様に感謝しています。子どもたちが立派な人に育ち、雨引の名を高めて欲しい」と話していました。



法務大臣表彰を受賞した保護司の渡邊忠さん（写真左）と又村和子さん（写真右）

11月12日 渡邊忠さんと又村和子さんが 法務大臣表彰を受賞

神栖市で開催された茨城県更生保護大会で功労者の顕彰が行われ、市内保護司の渡邊忠さんと又村和子さんが、法務大臣表彰を受賞しました。
この賞は、保護司として顕著な活動を行った方に贈られるもので、2人の永年の功績が認められました。
渡邊さんは茨城県西地区保護司会の会長を務めるなど保護司として19年間、又村さんは同副会長を務めるなど21年間、犯罪や非行のある方の更生を支援してきました。2人は、現在も保護司として活躍されています。



看板設置に参加された岩瀬ロータリークラブの皆さん

11月11日 岩瀬ロータリークラブが「ゴミは自分で持ち帰ろう！」の看板設置

ゴミのポイ捨て・不法投棄防止を目的に、岩瀬ロータリークラブ（橋本輝男会長）の皆さんが、「ゴミは自分で持ち帰ろう！」の看板を昨年に続き、大和地区14か所に設置しました。
同クラブでは毎年、不法投棄防止の看板設置や、清掃活動などを積極的に行って、市内の環境美化活動に力を注いでいます。
今回の看板設置にあたり、橋本会長は「豊かで快適な生活を送るためにも、ひとりひとりがマナーを守る事が大切」と、あいさつの中で話していました。



吹奏楽部の伴奏で、校歌を熱唱する小林由佳さんや会場の皆さん

11月12日 岩瀬小で同校出身オペラ歌手を招き「親子音楽鑑賞会」

岩瀬小学校で、同校出身の小林由佳さんを含むオペラ歌手4人とピアノニスト1人を招き、PTA親子音楽鑑賞会ハートフルコンサートが開催されました。
小林さんは、小学校時代に同校の吹奏楽部に所属。現在は、メゾソプラノ歌手として全国で活躍されています。
当日は、同校の児童や保護者のほか、地域の方が多数来場。ジブリの歌などが披露され、児童たちは「プラボー」と喝采を送りました。このほか、吹奏楽部の伴奏で、来場者全員で校歌を歌うなど、楽しいひとときを過ごしました。

まちの話題

「いばらき教育の日」推進大会で長谷川さん・若色さんが表彰

11月1日

第16回「いばらき教育の日」推進大会（茨城県立県民文化センター）で、長谷川幸汰さん（谷貝小4年）が元気な声でのあいさつをテーマに優秀標語の部で、茨城県知事賞を受賞。若色陽さん（坂戸小5年）は通学班長としての行いで、善行表彰に輝きました。
この催しは、みんなで教育を考える「いばらき教育の日」推進協議会が主催。学校や家庭、地域社会が連携して教育の充実と発展を図り、豊かな心と確かな学力を備えた子どもたちを育成することを目的として行われたものです。



茨城県知事賞を受賞した長谷川幸汰さん（写真右）と、善行表彰を受賞した若色陽さん（写真左）

鈴木環さんの陶芸作品が 県デザインセレクションで選定

11月6日

陶芸家・鈴木環さん（曾根地区）がデザイン・製作した作品が、県の優れたデザインを評価する「いばらきデザインセレクション」で、2年連続で選定に選ばれました。
今年の作品は、薪ストーブの上で使う耐熱陶器の加湿器で、水を入れずに空だきしても割れないのが特徴。1月下旬に、茨城県陶芸美術館に展示されます。
高校生ときに陶芸に興味を持ち、約30年間陶芸の道を歩む鈴木さん。「モノトーンの美しさが評価されて嬉しい。これからもシンプルなお品づくりを続けていきたい」と話していました。



ジンバブエの土を材料に、耐熱陶器の加湿器を製作した鈴木環さん

桜川市女性学級生が 「災害食の調理実習」を体験

11月17日

女性リーダーの育成を目的とする桜川市女性学級の学習会が、真壁伝承館で開催されました。
当日は、市外の災害体験者や災害食研究団体を講師に招き、「ライフラインが寸断される中で作れる献立調理と試食体験」をテーマに、学級生36人が災害食作りに挑戦。長期保存できる缶詰を主な食材として、洗米しないで作る炊き込みご飯、みそ汁、デザートなどを卓上コンロで調理しました。
新聞チラシを利用して作ったお茶碗やお皿に、料理を盛り付けて試食。「とても美味しい」と学級生は満足していました。



調理した災害食を、新聞チラシで作成したお皿に盛り付けている女性学級の皆さん

それぞれの思い語る 「青少年の主張大会」

11月20日

桃山中学校で、青少年育成桜川市民会議主催の「第10回桜川市青少年の主張大会」が開催されました。
本大会は、青少年が自ら社会の一員としての自覚と責任感に目覚め、健康な心身づくりに努めること、日常生活の中で感じたことを社会に訴え、それを青少年の育成活動に反映させることを目的としたものです。
当日は真壁小と紫尾小学校、市内5つの中学校から選出された児童・生徒7人が「かけがえない時間」「夢のままでは終わらせない」など様々なテーマで、思い思いの主張を発表しました。



それぞれの思いを発表した児童・生徒と青少年育成桜川市民会議役員の方